

中学生の皆様、ならびに保護者の皆様へ

72期生（2020年卒業）保護者

私と息子が5年前に親子で学校説明会に参加させて頂いたのがつい昨日の事にように思い出されます。たくさんの保護者の方々が体育館が満席の中、いろいろなお話を聞き、茨木学校が持つ独特の雰囲気にごく心を魅かれ、私自身も茨木高校が大好きになりました。

息子は早くから「茨高に入りたい」という強い気持ちを持っていました。2月にある中学校の最終個人懇談まではどうしようと親子でかなり迷っていましたが、最終的には息子が自分で茨高を受験すると決めました。そして、どきどきしながら合格発表の日を迎え、息子の受験番号を見つけたときは本当にうれしかったです。そして入学後もその思いは変わる事なく、息子と二人でそれぞれの茨高生活を楽しませていただきました。

皆様、茨木高校の校歌をご存知でしょうか？ 聞くととても昔の歌のような感じを受けます。歌詞の中に「国運たすけん」というすごいフレーズがあります。初めてこの校歌を聞いた時は正直びっくりしました。でも創立125年という伝統があるからこそ、このフレーズのように社会の中でそれぞれの分野でしっかりと生きて行ける子供たちが育つ、それが茨木高校なのではないかと思います。

入学後はすぐに、オリエンテーションや部活の仮入部を通して上級生とふれあいます。どこの部活へ行っても優しく温かく接して下さる先輩ばかりです。息子は「先輩が優しい」といつも言っておりました。体育祭の時の先輩たちにしてもしかりで、上級生が下級生のお手本になっている校風はとても素敵です。また体育祭は本当に楽しくてレベルの高いものです。衣装を自分たちで作る、踊りの振り付けなども子供たちで切磋琢磨しながら考えます。時間のやりくりやチームワークの難しさ、時にはぶつかり涙を流す事もありますが、それでも最後までみんなで体育祭を作りあげていきます。行事が人を作ると言いますが、私はPTA活動を通じてその姿を近くで見る事ができ、「茨高生はみんなすごい！」と本当に実感しました。

入学させて頂いてから、息子は勉強に、クラブ活動に体育祭や文化祭、フィリピン宿泊野外行事、妙見夜行登山、音楽会、英語イメージプログラム、東京スタディツアー、阪大SEEDS、スプリングセミナーでの京大訪問など様々な行事に参加しました。そのような体験はきっと将来の事を考えるヒントになったのではないかなと思います。

息子は1年生の時に1泊2日の東京スタディツアーに参加し、東京大学や東京医科歯科大学の研究室を訪問しました。また大阪大学SEEDSにも参加しました。SEEDSでは科学に関する講義を聴講し、関連して出される課題に記述式で答える選考テストを受け、阪大で様々な研究や体験に参加しました。めばえ道場という1泊2日での少人数によるディスカッションや留学生との異文化交流体験などもあり、かなり視野を広げることができたと思います。茨高の教育目標でもある「高い志の涵養」の精神にふれることができたのではないのでしょうか。

ある先生は、茨高生はみんな無限の可能性を秘めているので「あなたにはできな

い、無理」という言葉は絶対に子供にかけないでほしいと学年総会で保護者の方々におっしゃられていました。私はその言葉を守り、厳しい受験に向け、進路について一生懸命考えていた息子にいろいろ言いたくなくなってしまう気持ちをぐっところらえて見守り続けました。

茨高受験を選択する理由は人により様々です。私の息子は公立中学校でしたが、私立の中学校に行っていたけれど、そのまま附属の私立高校には進まずに茨高を受験されたという人もいます。私立から公立への選択は勇気がいったそうですが、思いきって新しい学校へ飛び込み、全く知らない人が集まる中で色んな人と出会い刺激を受けたいと思い3年生の12月に茨高への受験を決めたという方もおられました。それほど茨高は魅力あふれる学校だったとおっしゃっていました。

3年次には、PTA 会長をつとめさせていただきましたが、「できる人が、できる時に、できることを」をモットーに、先生方とともに楽しく活動することができ、私自身も充実した「第2の青春」を送らせていただきました。茨木高校は素晴らしい学校です。ぜひ茨木高校を目指して、3年間という大切な時間をこの学校で過ごしていただけたらと心から思います。